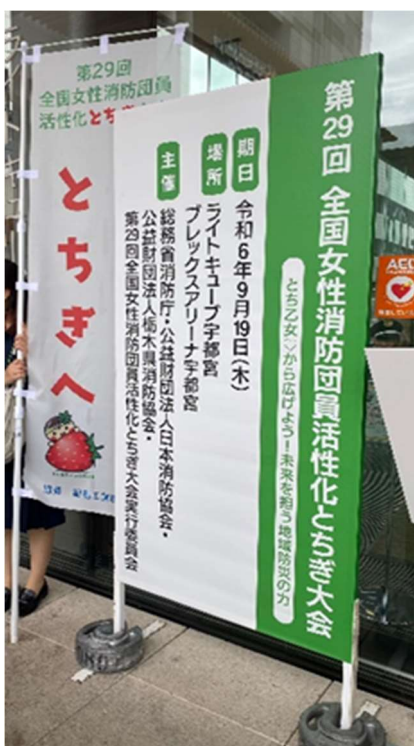


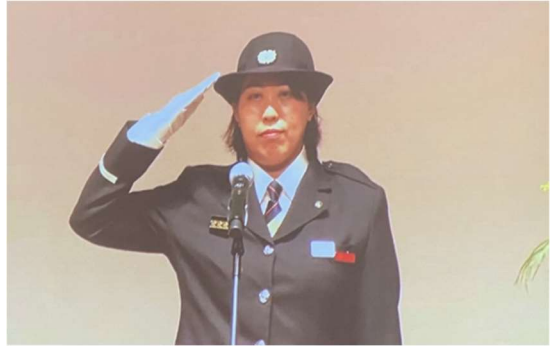


9月19日(木)栃木県宇都宮市ライトキューブ宇都宮において、「第29回全国女性消防団員活性化とちぎ大会」が開催されました。山形県より山形市・最上町・川西町・高島町・鶴岡市・酒田市が参加しました。



大会旗入場





## 活動事例発表

### 可児市女性消防分団 (岐阜県)

- ◇消防団員数 297名 (うち女性消防団員10名)
- ◇発表者 班長 荒尾 美代子
- ◇発表内容 ジブンゴト化を目指した私達の啓発活動  
— アラコとトイレ —

女性消防分団として年間を通して市民向けに実施している“応急手当講習”と市内各地域のコミュニティセンターの祭りで実施している“トイレの備え”について紹介します。団員全員で学び、考え、工夫しながら活動を続けてきたのは、“行動できる人を一人でも増やしたい”と願っているからです。アラコとトイレをきっかけに皆さんと学び、情報共有し、もう一歩先へ進んで行きたいです。



### 宇都宮市消防団 (栃木県)

- ◇消防団員数 1,937名 (うち女性消防団員58名)
- ◇発表者 副分団長 岡田 恵子 他
- ◇発表内容 心肺蘇生体操 ～こんなときは～

私たちが披露させていただく「心肺蘇生体操～こんなときは～」は、AEDの使用法と心肺蘇生の手順を分かりやすく覚えていただくために考案したもので、現在では、市内の各イベントや防災訓練をはじめ、幼稚園、小学校の防災教室などで披露しています。アーティスト横原敬之さんの「どんなときも」の楽曲に乗せた振付と替え歌で、小さなお子様から年配の方々まで、誰にでも親しみやすい内容となっておりますので、ぜひ、一緒に踊ってみてください！



### 京都市山科消防団 (京都府)

- ◇消防団員数 259名 (うち女性消防団員36名)
- ◇発表者 防火安全指導隊「やましな小町隊」  
副分団長 浅田 真由美・副分団長 加藤 豊子 他
- ◇発表内容 世代を超えたSDGsの防火・防災活動

2017年京都市に女性消防団員による防火安全指導隊が設置され、山科区は「やましな小町隊」の名称でスタート！毎月、学習と意見交換を行い、SDGsを根幹にした防火・防災活動を実施しています。防災講習会で行う「やましな防災ソング」は、手話のモチーフを取り入れ、年齢問わず一緒に歌って踊れる啓発ソングです。私達は、性別問わず能力や可能性を発揮できる防災活動を目指しています。



### 弘前市消防団女性分団 (青森県)

- ◇消防団員数 1,680名 (うち女性消防団員30名)
- ◇発表者 副分団長 佐藤 久仁子 他
- ◇発表内容 自分の命を守るために  
～備えて損なし からぶりでもいいから～

2001年創立の弘前市消防団女性分団。当時の定員は20名、PR活動が中心。2007年より市内中学校・高校や企業での救命講習会実施。2011年より幼稚園・小学校での防火教育や防災教育を行っており、最近は大津波や中心市街地の公共施設で一般向けの防災教室も開催。防火から始まり台風・水害・地震バージョンと多種多様な災害に対し「自分の身は自分で守る」という一貫したテーマで活動中。



## 活動事例発表

### 瀬戸市消防団女性分団 (Seto つばき) (愛知県)

- ◇消防団員数 243名 (うち女性分団員18名)
- ◇発表者 分団長 前田 恵美 (発表補助: 同員 前田 紗穂)
- ◇発表内容 私たち瀬戸市消防団女性分団Setoつばき!!

私たちは2005年3月、愛知万博の年に団本部付女性消防団員として誕生しました。2016年4月には女性だけの分団として団本部から独立し、現在に至ります。ネーミングとキャラクターは分団のみならずで考案しました。誕生から20年目の節目に、これまで歩んできた歴史と瀬戸市消防団の中での役割や盛り沢山の活動などを、全国の皆さんとつながれるこの機会にお伝えさせていただきます。



## 防火防災啓発劇

### 紀の川市消防団 (和歌山県)

- ◇消防団員数 1,297名 (うち女性消防団員14名)
- ◇発表者 分団長 地村 美貴 他
- ◇発表内容 稲むらの火

紀の川市消防団女性分団はチーム毎に活動しています。団員数は14人と少数ですが、好奇心旺盛な団員ばかりで活気に満ち溢れています。防火防災啓発劇を発表させていただくのはダンスチーム(ぶるぶる隊)の8名です。1854年の安政南海地震の津波に際しての出来事をもとにした物語。稲むらの火について、たくさん勉強し熱い思いの詰まった防火防災啓発劇になりました。ハンカチの準備をしてください。



### 善通寺市消防団 (香川県)

- ◇消防団員数 370名 (うち女性消防団員13名)
- ◇発表者 部長 曾根 章代 (代表)
- ◇発表内容 南海トラフ地震 その日に備えて

今回の啓発劇は、今年2月に善通寺市防災講演会の中で発表したものを短くアレンジしたものです。災害はいつ発生するかわかりません。南海トラフ地震に備えて、自分たちの命を守る為に、災害時に役立つ知識や情報、防災訓練の重要性について、啓発劇をとおして分かりやすく、楽しく伝えています。香川県ならではの1コマを取り入れた場面もありますので、お楽しみに。



## 記念講演

講演テーマ

# とちぎ × 女性活躍社会 × 消防・防災

大島美幸 (おおしま みゆき) さんは、栃木県大田原市のお生まれで、お父様が地元消防本部の元消防士さん、お母様が元看護師さんとお伺いしています。

吉本興業株式会社に所属するお笑いタレントであり、森三中のボケ担当ということですが、体を張った危険な仕事でも笑いに変えてしまう力があり、いつも元気で明るいオーラを放ち、全国の方々が元気を沢山いただいております。一方で私生活面では、放送作家の鈴木おさむさんと結婚され、現在は息子さんと三人家族で、母親としての一面も持ち合わせていらっしゃいます。

本日は、そんな仕事と家庭の両立を実現されている大島さんが女性活躍の応援団として、全国の女性消防団員の皆様にエールを送ります。



©YOSHIMOTO KOGYO CO.,LTD.

森三中 / 吉本興業所属

## 大島 美幸 さん

### プロフィール

- ◆生年月日: 1980年1月13日
- ◆血液型: O型
- ◆出身地: 栃木県 大田原市
- ◆趣味: ダンス / 洋服作り / 買物 / バスケットボール
- ◆特技: 料理 / 掃除
- ◆出身/入社/入門: 1998年 NSC東京校 4期生